

北岳バットレス 第四尾根山行報告書

記 柴田



計画書整理 No.

期 間：2021 年 9 月 18 日（土）～ 9 月 20 日（月）

種 別：合宿

山 域：南アルプス（北岳）

参 加 者：河本、柴田

コースタイム：9 月 19 日（日） 7:00 広河原→8:00 第一ベンチ→9:10 白根御池小屋
→10:00 二俣→ 10:50 謎の沢→11:30 左股登山道→13:00 CD 沢中間尾根末端
→14:30 d ガリ大滝取付→16:10 五尾根上テラス

9 月 20 日（月） 5:45 五尾根取付→6:45 CD 沢中間尾根末端→7:30 二俣
→8:00 白根御池小屋→9:00 第一ベンチ→9:45 広河原

記録

18日から三日間の予定だったが、台風の影響で二日間となった。初日始発バスに乗り第四尾根取付でビバーク、2日目北岳バットレス第四尾根登攀予定だったが、時間を考え五尾根上で撤退。

以下、詳細

1日目 雨

当初は白根御池小屋まで上がり幕営予定だったが、台風 14 号により終日バスが運行しないため、芦安での車中泊となった。

2日目 晴れ→曇り

昨夜時点では駐車場の車もまばらだったが、朝起きてみるとほぼ満車となっていた。乗合タクシーは合計 5 台ほど泊まっていたが 4:30 には定員となりバスでの出発となった。6 時 30 分ごろ広河原に到着し、準備をして 7 時頃歩き始めた。三連休という事もありランナーからテント泊装備の人まで多くの登山者が訪れていた。列になりながら 2 時間ほど歩くと白根御池小屋に到着、緊急事態宣言発令で営業はしていなかったが従業員はいた。



登り初め 登山者多い

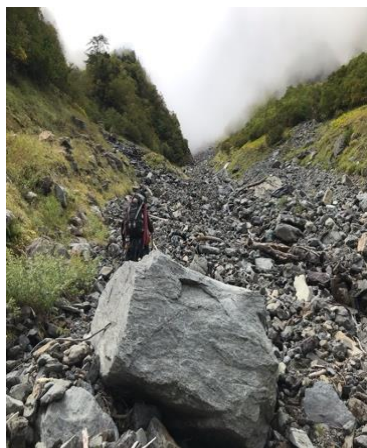


白根御池小屋

登坂の準備をして小屋を出発、分岐を二股側に行くと 30 分ほどで簡易トイレが目印の二股に到着。そこからガレ場沿いの右側を登っていくのが一般道だが、c 沢は水が流れているという情報に惑わされガレ場左側の沢を詰めてしまった。当然踏み跡は薄く悪い道を歩いて時間を無駄にしてしまった。途中で引き返して一般道に戻り 1 時間ほど登ると c 沢に到着した。初めどこが道か判断できず少し上に登って標識のある辺りまで行ってみたが、道がなさそうなので引き返す。結局水流のある沢が c 沢と判断し、左隣の沢筋との中間尾根を登り始めた。自分達は下の方から尾根に取り付いたが、d 沢を少し詰めてから尾根に乗った方が登りやすそうだった。



二俣



左側の沢へ誤って入った



左俣 一般道



c 沢付近 (黄色のペンキや赤点の目印有)



中央の出っ張りが CD の中間尾根
手前の水量ある沢が c 沢

中間尾根には明瞭な踏み跡があり、c 沢の右岸側を辿って踏み跡が出来ていた。
30 分ほど歩いて樹林帯を抜けると灌木帯が広がっていて、行きはガスが酷かったが
晴れていればバットレスがよく見える。そこから 20 分ほど歩いて d ガリ大滝の取付
に到着した。



中間尾根出だし



右手に c 沢が見える



灌木帯

いざ登り始めようとする前日の雨・当日の湿気で取付部はビチャビチャで乾いていればなんて事なさそうな五尾根の取付へのトラバースも恐怖感があった。通常はここで確保を取らないからかハーケンなどプロテクションが全くなく、ハーケンを打って確保を取りながら取付までトラバースした。



C ガリ大滝左側が 5 尾根



取付手前(左上のバンドに沿って 5 尾根へ)

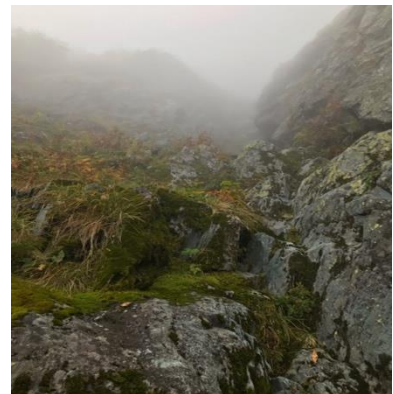
5 尾根は若干ランナウトしながらもハーケンを打ってあり、岩も乾いていて快適にクライミングができた。自分達は 2 ピッチで上まで上がったが、50m あれば 1 ピッチに纏められそうだった。ザイルをしまって草付きを少し歩くと d ガリ大滝との合流地点に着いた。この時点で 16 時を回っていた為、4 尾根取付まで行く事を断念し、ちょうど平らでルンゼを避けた適地があったのでここでビバークする事にした。



5 尾根



5 尾根上(この辺でビバーク)



5 尾根上のルンゼ

自分達のペースでは翌日登頂してから 16:30 のバスに乗る事は確実にないと判断し翌朝日の出と共にここから撤退する事を決断した。9 月後半で 2700m 程の標高にしては暖かくシュラフがあれば快適に寝ることができた。

3 日目 晴れ

朝 5 時頃の日の出と共に d ガリ大滝を懸垂下降した。下を見るとヘッドランプの灯がチラホラ見えて、自分達が取付に降りた頃には 2 つのパーティがそれぞれピラミッドフェイス・5 尾根に取り付いていた。彼らを横目に登攀具をしまい CD 沢中間尾根を降った。所々降りづらい箇所はあるが比較的安全なエスケープができた。尾根の末端

までは1時間ほどで降り、後は一般道を歩いて10時前に広河原に到着、乗合タクシーのおじさんに導かれて帰路についた。



日の出



翌朝はよく晴れていた

感想

今回は前々から行きたかった北岳バットレスに挑戦出来て良かったです。翌日に仕事も控えていたので晴天の中途中敗退と悔しい思いをしましたが、次回こそは登ってやると強い決意を持ってました。前回の反省を生かし日程にゆとりを持っていましたが、生憎の台風で結果的には2日間とタイトになってしまったので、次回こそは何かあっても大丈夫なよう3日間でトライしたいです。今回でアプローチは確認できたので、またこれから経験を積んで来年は上まで行きたいと思います。(崩落の可能性が高いとの事で、来年まではもってくれるといいですが、)

また毎度の事ですが、いつも移動や的確な判断をしてくださる河本さんに感謝です。来年こそは一緒に攻略してやりましょう！